

科目名	長期インターンシップ(電子通信システム工学コース)		英文表記	Long Term Internship		2014/3/14			
科目コード	6021								
教員名:【情報通信システム工学科】比嘉勝也・兼城千波						修正			
技術職員名:									
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
創造システム工学専攻・電子通信システム工学コース			専1	選	学修	4単位	実習	集中講義	
科目目標	①長期間にわたる実務経験を通して、職業意識を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につけ、自らのキャリアデザインにつなげることができる ②高専で学んだことと働くことを関連付けて考えることができる ③就業経験および共同研究・受託研究を通して、研究開発の意義を学び、遂行することができる								
総合評価	研修(日報による評価40%)および研修先の評価(40%)、およびインターンシップ報告書の内容(20%)で評価する。60%以上を合格とする。 履修に必要な書類:受入許可書および日程表(この提出をもって履修許可とする)、日報、派遣先からの評価								
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)				達成度目標の評価方法			目標割合	
	①	長期間にわたる実務経験を通して、職業意識を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につけ、自らのキャリアデザインにつなげることができる(B-1,B-3)			⇒	研修(日報による評価)および研修先の評価、およびインターンシップ報告書の内容で評価する。			40%
	②	高専で学んだことと働くことを関連付けて考えることができる(B-1,B-3)			⇒	研修(日報による評価)および研修先の評価、およびインターンシップ報告書の内容で評価する。			30%
	③	就業経験および共同研究・受託研究を通して、研究開発の意義を学び、遂行することができる。(B-1,B-3)			⇒	研修(日報による評価)および研修先の評価、およびインターンシップ報告書の内容で評価する。			30%
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	○		◎		JABEEプログラム教育目標		◎B-1,B-3		
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック		
評価項目		0	0	100	0	100			
基礎的理解		0	0	25		25			
応用力(実践・専門・融合)		0	0	25		25			
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)				25		25			
主体的・継続的学修意欲				25		25			
授業概要、方針、履修上の注意	【概要】 学校教育と就業体験の結合により、より高い職業意識を育成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。習得した専門知識を生かし、学外における実務研修により、実社会で必要な要素・能力(企画力、計画性、実行力、労働・契約の意義、コミュニケーション能力、情報管理など)を実践レベルで身につける。								
	1. 履修を希望する学生は、各コース科目担当教員の指導を受け、授業計画に基づいて、インターンシップを実施する。 2. 実際の現場で長期にわたって業務を体験することで、実践的な技術を理解する。 3. 長期間にわたる実務経験を通して、職業意識を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。 4. 学校教育と就業体験の結合により、より高い職業意識を育成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。 5. 習得した専門知識を生かし、学外における実務研修により、実社会で必要な要素・能力(企画力、計								
教科書・教材	教員作成資料、企業作成資料								

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	講義内容説明・ガイダンス	1	インターンシップの意義と講義の進め方についてガイダンス		
2	インターンシップ先企業研究	9	企業研究、大学受け入れ先検討	企業・大学の調査	
3	インターンシップ	160	約4週間の企業研修・大学での研究 ①企業における多様性を理解し、自らの進路としてキャリアデザインを構築することができる ②企業における社会的責任を理解できる ③企業活動が国内外の他社との関係性を理解できる	研修研究内容の自己研究	
4	成果報告まとめ	10	インターンシップ報告書の作成・報告会資料作成・報	資料作成・プレゼンテーション	
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末		[0]			
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末		[0]			
学習時間合計		180	実時間	135	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
① 企業内研修・大学研究での課題レポート				各2時間×5回	
② 課題発表(テーマに沿った課題について調べ、発表資料を作り、発表する。)				各2時間×5回	
<b>備考欄</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この科目はJABEE対応科目である。</li> <li>・ 関連科目：◎インターンシップ(4年)、卒業研究(5年)、特別研究(専攻科1・2年)</li> </ul>					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)